

『原価計算研究』

＜注意事項＞(2025 年 7 月 25 日改訂)

- (1) 『原価計算研究』への投稿にあたっては、**必ず**このフォーマットを使用してください。なお、本注意事項の頁と次の頁からの各種指示文章は投稿の際には**削除**してください。
- (2) **1 頁目**に、日本語による主題、副題(あれば)、筆者名、要旨、キーワード、英語によるタイトル、サブタイトル(あれば)、筆者名、要旨、キーワードを記述し、2 頁目より本文文章等を記述してください。但し、**投稿時は筆者名、所属を空欄にしてください(日本語・英語表記とも)。**
- (3) **2 頁目以降**の提出論文の標準原稿頁数は、本フォーマットを使用し、**10 頁まで、ただし執筆要項に示すやむをえない事情がある場合は 12 頁までは許容します。**この頁数には、本文文章、図表、注、参考文献リスト、謝辞・付記が**含まれます**。*この注意事項の頁を削除すると、本文文章の開始頁の頁番号が1となります。
- (4) 本フォーマットは、42 文字×40 行＝1,680 字となっています。フォントは、日本語は MSWord による MS 明朝、英語は MS Word による Times New Roman とし、フォントの大きさは、本文(節・項・款のタイトル)のフォントは以下の指示に従ってください)、注、参考文献リスト、謝辞・付記等すべて **9 ポイント**としてください。フォーマットを使用していても、この書式に従っていない場合は、フォーマットを使用していないものとします。
- (5) 図表は本文中の適切な箇所に入れてください。そのうえで図表の使用行数を表記してください。図表のフォントサイズは **6 ポイント以上**としてください。
- (6) 1 頁目の筆者所属は脚注機能を使用してください(投稿時には記載しないでください)。2 頁目以降の注は Word の**脚注機能を使用しない**でください。
- (7) 2 頁目以降には、**筆者が特定できる表現は含めないでください。**投稿時には謝辞・付記は論文本文に**入れず**、該当箇所に使用行数分のスペースを入れてください。

中央揃え。

中央揃え・直前行は1行空ける。

主題 (16pt. ボールド体)

全角ダッシュ、半角スペースとする。

— 副題(あれば) (10.5pt. ボールド体)

投稿時は筆者名を書かない。右揃え・直前・直後行は 0.5 行空ける。

第一筆者名* (, 以下共著の場合共著者名†) (12pt.)

要旨 (←9pt.ボールド体)

150 字程度の論文要旨(8pt.) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□
□□□
□□□

3人以上の場合の
右上添えの記号
は、「 $\ddagger$ 」「 $\S$ 」「 $**$ 」
「 $\dagger\dagger$ 」とする。

キーワード (←9pt.ボールド体。↓5~10 個程度。)

直前行は 0.5 行空ける。

□□□□□, □□□□□, □□□□□, □□□□□, □□□□□, (8pt.)
 □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□

中央揃え・直前行は1行空ける。

Title(12pt. Bold): Subtitle(あれば)(12pt.Bold)

投稿時は筆者名を書かない。
右揃え・直前・直後行は0.5行空ける。

First author(, Second author) (9pt.)

Summary (←9pt.Bold)

[illegible]

Key Words (←9pt.Bold ↓ 5~10 個程度。)

Cost Accounting(例), Activity Based Costing (ABC)(例), □□□□□, □□□□□, □□□□□□, (8pt)

□□□□□, □□□□□□, □□□□□□, □□□□□□, □□□□□□

直前行は 0.5 行空ける。
単語の先頭を大文字にする。

英文氏名は下記の例にしたがって記入してください。

例: Yamada, T.

ただし、投稿時は記載しないでください。

脚注を含め、1 頁に収めてください。

投稿時は所属先を書かない。8pt.とする。

20XX 年 X 月 X 日受付

* ○○大学○○学部教授

† △△大学△△学部教授

Citation in English: 英文氏名, 年号, 英文タイトル. *The Journal of Cost Accounting Research*, 巻号, 〇

- ○. Available from: <https://doi.org/10.20747/jcar.○○○>. (○部分は編集委員会にて記載)

20XX 年 X 月 X 日受理

Professor, College of Economics, ○○ University

Professor, Faculty of Business Administration, $\Delta\Delta$ University

節の数字は全角、直後に1コマスペースを空ける。

I 節タイトル(14pt.ボールド体。節タイトルの直前は 1 行,直後は 0.5 行空ける。)

項の数字とピリオドは全角，直後にスペースは空けない。

1. 項タイトル(12pt. ボールド体。項タイトルの直前行は0.5行空ける。)

(1) 款タイトル(10.5pt. ボールド体。款タイトルの直前・直後行は空けない。)

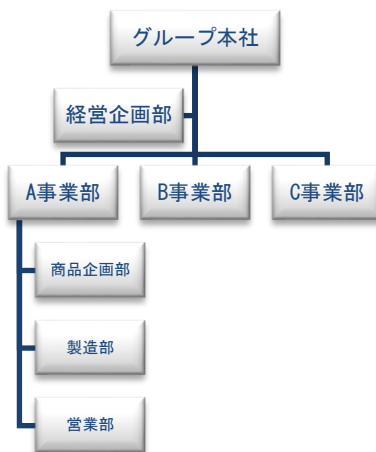
[illegible]

款の数字と括弧は半角、直後に1コマスペースを空ける。

図表内で使用する文字の大きさについては、「6 ポイント以上」とする。筆者が作成したオリジナルな図表には「筆者作成」と明示する。図表タイトルと図表は中央揃え、図表出所は、図表の左揃えとする。図表の下は1行空ける。

統計量を示す記号(例えば、平均値 M 、標準偏差 $S.D.$ 、 P 値 $p < 0.05$ など)は斜体で書くこと。

図表 1 組織図 (15 行使用)



本文中の括弧は半角スペース+半角括弧+半角スペースかつ Times New Roman としてください。

例 1: 原価計算 (2003) は, ...である (原価計算 2009)

例 2: 原価計算研究 (以下, 原計) とは, ...

例 3: マネジメント・コントロール・システム (MCS) とは, ...

このフォーマットは、実際の雑誌のサイズ（B5）に合うよう余白設定がされている。図表は、余白にはみ出ないように作成のこと。

(出所) 筆者作成

A 10x10 grid of squares. The top row has a blue arrow pointing to the 4th square from the left. The bottom row has a period at the end of the 4th square from the left.

本文と謝辞の間は 1 行空ける

『原価計算研究』

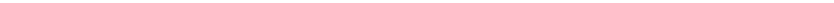
(謝辞)使用行数 3 行

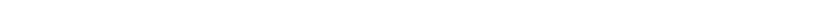
謝辭

謝辭

謝辞と注の間は 1 行空ける

(注)

(1) 

(2) 

注と参考文献の間は 1 行空ける

【参考文献】

経済産業省. 2022.『価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス 2.0（価値協創ガイダンス 2.0）』経済産業省 (https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/kigyoukaikai/Guidance2.0.pdf 閲覧日：2025 年 3 月 20 日).

吉田良三. 1929. 「原価計算論」(増地庸治郎・吉田良三・太田哲三.『経営経済学』改造社: 297-333).

Ittner, C. D., and D. F. Larcker. 1998a. Innovations in performance measurement: Trends and research implications. *Journal of Management Accounting Research* 10: 205-238.

参考文献には Kindle などの電子書籍版ではなく、原則として紙版を掲載すること。